

4. 保育カルテ案

円滑な街路樹の維持管理を行うにあたっては、まず、街路樹の植栽年度、植栽状況、樹種、形状等を整理し、街路樹の素生を把握する必要がある。育成・維持管理期間では、その樹木の特性・状況にあった維持管理が必要であり、継続的に調査・管理を行わなければならない。その為、保育カルテを作成し、樹木のデータベース化を図り、きめ細やかな保育管理を行っていく資料として活用するのが有効である。

以下に保育カルテ案を示す。

●参考－保育管理カルテ（案）

〔R側・樹木No55〕

平成31年7月診断結果	植栽地の現況			調査木の現況							被害状況							総合評価	改植	
	管理番号	位置(KP)	植栽基盤	樹種	樹高(m)	幹周(cm)	枝張		樹勢		野鼠被害		除雪被害			その他被害				
							平行	直角	着葉量	枝枯れ	程度	高さ	被害程度	支柱種類	補修	種類	程度			
55	R		盛土   切土   植樹帯	カツラ	4.5	19	3.2	2.3	やや劣る	無し	無し	特になし	2脚						I	
平成14年度		作業工種	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考		【特記事項】 ・道路除雪による雪圧が著しいため、樹木回りの雪堤の除雪を行った。(H14.2.15)			
		1.定期点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						
		2.雪害対策	●												・支柱異常なし					
		3.施肥	●																	
		4.灌水・清掃	●				●													
		5.病虫害防除					●								・殺鼠剤散布、フオイルラス					
		6.野鼠対策								●	●									
		7.下草刈り		●																
		8.整枝・剪定		●											・枯枝剪定					
平成15年度		作業工種	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考		【特記事項】 ・樹木付近でエノヤチネズミの死骸(2匹)を回収する。(H15.4.3.定期点検) ・枯れ枝を切除し、切り口の処置を行う。			
		1.定期点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						
		2.雪害対策	●																	
		3.施肥	●																	
		4.灌水・清掃	●				●								・オビカレハ発見					
		5.病虫害防除					●													
		6.野鼠対策									●	●								
		7.下草刈り		●																
		8.整枝・剪定		●											・枯死剪定					
平成16年度		作業工種	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考		【特記事項】			
		1.定期点検																		
		2.雪害対策																		
		3.施肥																		
		4.灌水・清掃																		
		5.病虫害防除																		
		6.野鼠対策																		
		7.下草刈り																		
		8.整枝・剪定																		
平成15年度		作業工種	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考		【特記事項】			
		1.定期点検																		
		2.雪害対策																		
		3.施肥																		
		4.灌水・清掃																		
		5.病虫害防除																		
		6.野鼠対策																		
		7.下草刈り																		
		8.整枝・剪定																		

5. 樹木医などの専門家による診断・アドバイス体制案

前述の保育カルテによる維持管理においては、定期的に樹勢、病気有無などの専門的な判断を行い、健全な樹木育成を図っていく必要がある。

その対応に向けては、樹木医など専門家で構成するアドバイス体制および定期的な診断体制を確立する必要がある。